



# みやこ

## ”祝合併10周年”消防出初式祝賀放水



### もくじ

- 「12月定例議会 結果を報告」… 2~5P
- 「議会の活動報告」…………… 6~8P
- 10名の議員が町政を問う!
- 「一般質問」…………… 9~18P
- 節丸小学校議会傍聴感想文…………… 19P
- 町内の頑張っている団体を紹介!みやこ…………… 20P
- 「がんばっちょる」…………… 20P

1月9日、消防出初式が行われました。今年、みやこ町が合併して10周年を迎えます。10周年記念として、全消防団により今川の両岸に分かれ、祝賀放水を行いました。

平成27年第6回みやこ町議会定例会を12月1日から12月11日までの11日間にわたり開催しました。町長から21件の議案が提出されましたので、その議決結果について報告します。

## 平成27年第6回定例議会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	肥喜里雄二	吉竹次男	橋本真助	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	金房眞悟	浦山公明	柿野義直	上田重光	熊谷みえ子	中尾文俊	中尾昌廣	議決結果
人権擁護委員の推薦につき意見を求めること (井上政弘氏を推薦)		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
権利の放棄（みやこ町住宅新築資金等貸付金(住宅改修資金)に係る債権2件）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
訴えの提起（犀川中学校土地所有権移転登記手続請求事件2件）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町歴史民俗博物館駐車場条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町農業委員会委員に関する選考委員会設置及び運営条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決
みやこ町農地利用最適化推進委員定数条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決
みやこ町課設置条例の一部を改正する条例の制定		×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	否決
みやこ町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
みやこ町証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町税条例の一部を改正する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決
みやこ町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町農業委員会委員定数条例の一部を改正する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決
備品購入契約の締結（伊良原小・中学校管理備品購入事業）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の締結（龍毛橋橋梁架替工事）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
京築広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び京築広域市町村圏事務組合規約の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
京築広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の変更（皆見・西ノ谷線）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度みやこ町一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決
平成27年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
後期高齢者の保険料軽減特例措置に関する意見書(案) (継続審査分)		×	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	否決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、×は反対。





# 議案に対する討論



## みやこ町農業委員会委員に 関する選考委員会設置及び 運営条例の制定

**反対**

● 今まで農業委員会は公職選挙法に基づいて民主的な方法で運営をされている。今回、法律が変わったということで、選考委員会を設置し、その選考委員会の委員を決めるに当たっても、町長の委嘱という形になる。そこである程度の思惑や意思が働くということが懸念される。このことは民主主義の観点からして大変問題があり、公平さを著しく阻害するものである。

## みやこ町課設置条例の一部を 改正する条例の制定

**反対**

● この議案は人権男女共同参画課をなくす条例である。人権問題とりわけ同和問題は国民的課題であり、人権政策の重要な役割を果たしてきた人権男女共同参画課をなくすことは時代に逆行することである。

● みやこ町は平成20年に男女共同参画計画を策定し、女性の社会参画を強め、女性の人権を大切にすることを取り組みの緒についたところである。また、部落差別を始めとする人権侵害の問題も多発化の方向にある中において、人権男女共同

参画課を廃止することは、社会的に弱い立場に立たされていられる人たちに寄り添うという考え方とは相入れないものである。

● 総務課が業務を受け持つと言っている中、課として、しっかりと推進することが必要である。

また、今回1課のみの業務の移動であるので全課の状況を把握・検討した上で提出すべき案件である。

● 職員数が削減されていく中、全体的な機構改革が必要だと考えるが、なぜ、この時期に人権男女共同参画課のみの統廃合なのか不審に思うところである。職員の多忙化等の問題も含めて、課の見直しを進めていただきたい。



男女共同参画を推進する看板

## 備品購入契約の締結

**賛成**

● 伊良原 小・中学校

● 小・中学校新校舎にふさわしい備品購入である。

● 残念ながら、機・イスはス

チール製になっているが、校舎の室内においては木材をふんだんに使っているということで、子どもの健康、環境面等にも配慮していることは感謝したい。

世界でも有名な安藤先生設計の学校である。1人でも多くの児童生徒をお迎えして開校式ができることを願って賛成の討論とする。

● ピカピカの校舎・ピカピカの机、何もかもピカピカだらけの教育環境で、伊良原小・中学校の児童生徒にとって待ちに待った学校生活が平成28年4月からスタートすることになる。

現在、みやこ町には、小中学校の統廃合計画があり、計画どおり実施されれば、大量の備品が不用となるのが予想される。不用となった備品を初等教育すら享受できない教育環境にある世界の子どものための教育向上に提供してはと提案・要望し、賛成討論とする。



## 平成27年度みやこ町一般会計 補正予算(第4号)

**反対**

● 農業委員選考委員報酬が2回分計上されているが、これだけで次期農業委員を、しっかりと審査できるのか危惧する。選考委員会の機能を十分に果たせる予算化が必要だと考える。

**賛成**

● 伊良原ダム建設に伴う森林公園整備事業に係る用地購入費や立木補償費が計上されている。地域住民の長年の悲願であり、一日も早く進めていただきたい。



## 後期高齢者の保険料軽減 特例措置に関する意見書(案)

**反対**

● この意見書案は、後期高齢者の保険料軽減特例措置の継続を求めるものであるが、高齢化に伴う医療費の増加、少子化による社会保障の根源となる税金の減少等で財政的にも大変厳しくなることは間違いない。高齢者にも自分の負担を求めざるを得ないのではないかと考える。



# 委員会審査報告

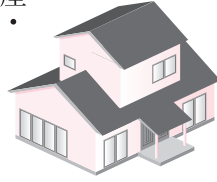
総務・産業建設・文教厚生常任委員会に付託された主な議案の内容や審査概要を報告します。

## 総務常任委員会 (12月7日)

### 住宅改修資金貸付金に係る債権を

#### 不納欠損処分

今回、昭和50年及び52年の貸付分2件、総額153万4439円を債務者の死亡・無資産・



自己破産等、また、連帯保証人・相続人の死亡等により償還が見込めなため、県の償還推進事業（債権の4分の3を補填）を申請し、認可されたので、不納欠損処分を行うもの。

**Q** このような事案は多いと思うので、早急に償還推進事業の申請を行うべきと考えるが、今後の方向性は。

**A** 平成26年度決算では滞納件数は174件あり、中には転居先不明なものもある。転居先・破産・相続関係等の調査に時間を要するので、年間に数件しかできてないのが現状である。

### 人権男女共同参画課廃止案 否決される

人権男女共同参画課を廃止するため、みやこ町課設置条例を改正するものがある。現在行っている業務は総務課が引き継ぐということで説明を受けたが、委員会及び本会議において否決された。

**Q** 課に値しないから廃止するのか。

**A** 人権及び女性参画問題を総括的に取り組むということで、総務課への移行を考えている。

**Q** 専門の課があつてこそ、人権や男女共同参画への問題に対してしっかりとした取り組みができるのではないか。

**A** 人権問題等の業務に取り組む課の職員数が増えることにより、相互に力を発揮できると考えている。



### 伊良原地区森林公園整備事業

#### 用地費及び立木補償費に

#### 1億300万円補正

伊良原ダム建設工事に伴い、森林公園整備事業を実施するため用地費に6400万円、立木補償費に3900万円補正するものであり、財源は、伊良原ダム周辺地域振興基金から全額繰り入れるもの。



伊良原ダム定礎式

**Q** 購入面積や単価はいくらか。

**A** 面積規模は5.3ヘクタールを予定し、過去の事業等を参考に1平方メートル当たり1200円の単価で計上しているが、鑑定評価や過去の買収単価を参考に正式に価格決定し、用地交渉を進めていきたい。

### 産業建設常任委員会 (12月4日)

#### 農業委員が13名に変わります

農地利用の最適化を促進するため、農業委員会法が次のように改正され、平成28年4月1日から施行される。  
(主な改正点)

・農業委員の選出方法が公職選挙法から町長の選任制に変更

・農地利用最適化推進委員の新設  
この法改正により、関係条例の制定及び一部改正を行い、次のように定めるもの。

(農業委員会委員選考委員) 10名  
(農業委員会委員) 13名

農地法による許可等の合議体としての決定行為が主な業務

(農地利用最適化推進委員) 26名

担い手への農地利用の集積・集約化の推進など、現場活動等が主な業務

**Q** 農業委員会委員と農地利用最適化推進委員の選出方法は。

**A** 公募や推薦により選考する。

**Q** 選考委員が重要と考えるが、選考委員の選出は、どのように行うのか。

**A** 副町長、総務課長、農業委員会事務局長、産業課長で検討し、選出したと考えている。



女性農業者による6次産業化を推進するため、2分の1の県費補助で、農

### 39万円補正 女性農業者の活躍促進事業補助金

#### <工事請負契約の概要>

(契約金額) 6258万6000円

(契約の相手方)

福岡市博多区博多駅東1丁目12番6号  
株式会社 安部日鋼工業 九州支店

(工期) 契約の効力の発生の日から  
平成28年3月18日まで



歴史民俗博物館駐車場

の。及び管理について必要事項を定めたと  
の。及び管理について必要事項を定めたと  
の。及び管理について必要事項を定めたと

### 歴史民俗博物館駐車場条例制定

豊津グラウンド横に歴史民俗博物館

の駐車場(バス4台、普通車22台収容

可)を設置したことに伴い、その設置

及び管理について必要事項を定めたと

の。及び管理について必要事項を定めたと

#### <備品購入契約の概要>

(契約金額) 1825万2000円

(契約の相手方)

みやこ町犀川本庄463番地6  
森実商店

(納期) 契約の効力の発生の日から  
平成28年2月26日まで

### 伊良原小・中学校管理備品 購入契約締結

伊良原小・中学校(総称…みやこ伊

良原学園)校舎の新築工事に伴い、校

舎に必要な備品を購入するもの。

選考委員の内訳は。

町職員OB等の学識経験者4名、

駐在員等地域の代表者3名、農業委員

経験者3名としている。

農業委員会委員の内訳は。

認定農業者7名、一般の農家5名、

農業者以外の者1名としている。

### 龍毛橋橋梁架替工事 請負契約締結

犀川横瀬区の龍毛橋の架替工事を行

うもの。

産物の加工販売及び機器として真空包

装機、冷蔵庫、食品乾燥機を購入する

もの。

事業対象者の条件は。

認定農業者や団体等の要件は特に

ない。女性農業者が自宅で行っている

農産物の6次産業化を支援する県の補

助事業である。

### 文教厚生常任委員会(12月8日)

休日には、豊津グラウンドの利用

者も駐車すると思われるが、支障があ

るのではないか。

歴史民俗博物館へのバスでの来場

者が増えている。事前にバス等の来場

される方の駐車場は確保し、野球等の

大会関係者に対しては、できるだけ利

用を控えていただくよう説明し、トラ

ブルのないようにしていきたい。

児童生徒の机・椅子を木製にする

ことは、子どもの健康面において効果

があるといわれているが、検討したの

か。

高額であったため断念した。内壁

等には木材を利用している。

みやこ伊良原学園の校長の考え方

は。

全国的に施設一体型の小中学校は、

校長が1人という形が多い。伊良原学

園は小規模校でもあり、校長1人の体

制をとりたいたいと考えている。

### 国民健康保険事業特別会計

3320万円増額補正

退職被保険者等の医療費が当初見込

みより増加したため、療養給付費及び

高額療養費の保険者負担金として、3

320万円を増額補正するもの。

健康づくりの取り組みをどう進め

て行くかが重要になってくると思う。

今年度の医療費の伸び率及び増加した

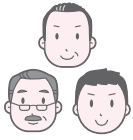
原因は。

26年度の同月と比較すると約1.5倍

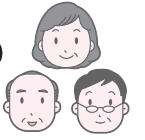
の伸びがある。病院にかかる方、突発

的に高額医療費がかかる方が増えてい

ることが原因と考えられる。



# 議会の活動を報告します!



## 文教厚生常任委員会 キャリア教育の先進地視察

10月27日、28日

### 「教育は国の礎。町づくりは人づくりから」

みやこ町の今後の学校教育の在り方を示す、みやこ町学校再編整備計画の答申が平成27年1月22日に出され、1年が経過し今後は再編整備に向けての具体的な計画が待たれるばかりです。

また、平成28年4月からは、みやこ町として最初の小中一貫教育校、みやこ伊良原学園が開校します。みやこ町第2次総合計画(案)にも将来像を実現するため5つの柱の一つに、『夢もち、心豊かな人を育てるまちづくり』を掲げ、今後取り組んでいくことが明記されています。今まさにみやこ町では教育の大きな転機を迎えています。

このような時期、文教厚生常任委員会としても先進的な教育実践に学び、みやこ町の教育施策に反映すべき見識を深めることは極めて重要な課題と考え研修視察を実施しました。

現在注目されている教育内容で、みやこ町の今後の教育の方向を示す**キャリア教育**(子ども達が目標を持ち、志を立て、よりよい社会を作っていくこととする態度を養い、自己の可能性を伸ばし自らの人生や新しい社会を切り開いていこうとする力を育む教育)の先

進地、大阪府和泉市立幸小学校、大阪NPO法人JAEを研修視察しました。

今回の研修を終え、地域を知り、地域で働く人々とのかわりを通じて自分たちの住む地域に愛着を持つキャリア教育の取り組みは、子どもの自尊心を高めるだけでなく地尊感情(地域によさ、ふるさとの良さへの気づき)を育むことにつながり、みやこ町の教育の原点として、推進すべきであると確信しました。

### 【大阪市NPO法人JAE】

平成23年度「キャリア教育優良団体」文部科学大臣賞受賞

「未来のために、場づくりで人を育む」を概念に、小学生から若手社会人までを中心に教育機関、協力企業をつなぐ取り組みを行っている。

### ◇事例紹介◇

- ・大阪府教育委員会「キャリア教育サポーター事業」
- ・東大阪ええとこスクラム協議会
- ・尼崎インターンシップ事業



### 【大阪府和泉市立幸小学校】

平成26年度キャリア教育推進文部科学大臣賞受賞校

「社会とつながる、人とつながる、未来とつながる」を目的にしたキャリア教育の実践校



学校での研修の様子

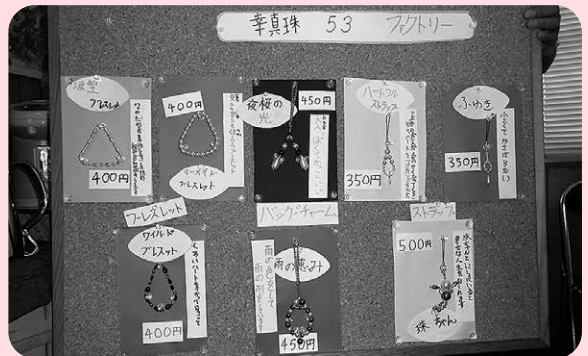
### 5年生の実践『企業家教育』の取り組みが中心

和泉市の地場産業の人造真珠を扱う地元企業の協力の下、社会で働く地域の人と関わりながら自らの生き方を考えるきっかけへとつなげていく取り組みとして、子ども達自らが、市場調査・分析・商品開発・評価会・会社設立・資金調達・宣伝活動・販売活動・収支決算を行っている。

\*平成23年度から収益は東北の被災地の小学校に義援金として送っている。



生き生きと学ぶ子ども達



子ども達作った人造真珠の商品



広報特別委員会 福岡県町村議会広報研修会に参加

11月25日

福岡県町村議会議長会

主催により、毎年開催される福岡県下の自治体議員などを対象とした広報研修会に参加しました。

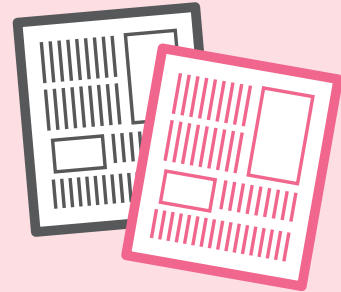
講師はエディター・広報アナリストである吉村潔氏。「地方議会人」（中央文化社）で市町村議会広報クリニックスを隔月で担当しており、主な著書は『実践・広報紙づくり』等多数。町村議会広報全国コンクール審査委員、各県の行政・議会、市町村など広報セミナーの講師を務めています。

「読者とつながる対話型広報へー議会広報のコミュニケーション技術」と題しての講演でした。はじめに、「読まれる広報紙はどこが、どう違うのか」全国の広報紙の様々な紙面の具体例などを紹介しながらの講演でした。

情報の編集力・デザイン力+コミュニケーション力とは、すっきりとした見やすい紙面、写真の使い方によりメリハリをつけるなど、プロならではの紙面構成など参考になる事ばかりでした。

「脱お知らせ広報」、情報の編集力向上など課題も多く見えてきました。

午後は参加議会の各広報紙で「広報紙クリニックス」。川崎町では写真・題字の募集などをし、住民参加型の取り組みをしていました。気軽に読んでもらえる議会広報めざして、どうし



たら読んでもらえるのか。また、読者に興味を持ってもらえるのか。住民の意見を聞き、紙面に載せるなど紙面の工夫の方法など参考にして、これならできると考えたものがありました。

限られた紙面にすべて盛り込もうとすると文字ばかりで読む気がなくなるのは当然です。また、スマホが議会を身近にするということ、会議録・中継+メディアリンク、QRコードアプリで動画再生など、スマホ画面にかざすと動画を再生する機能を活用し、QRコードを読み取り、町のホームページの議会会議録、町広報紙にリンクさせるといったスマホなどの情報機器を活用する先進的な議会広報には時代を感じさせられました。利用することができ人は限られるけれども、現在の情報機器を活用して、紙面に収まらない情報をお知らせするなどの提案は斬新と感じました。

QRコードとは？



このような模様を見かけたことがあるかもしれません。これがQRコードという二次元バーコードの一種です。この中に、いろいろな情報を詰め込むことができます。



平成27年11月11日、町村議会議長全国大会に参加し、町村における人口減少の克服と地方創生を実現するために、議会人として一致団結し、国に対し要望行動を行う決議などを行いました。

町村議会議長全国大会



肥喜里和隆氏（前みやこ町議会議員）が、町村議会議員として35年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功労があった者として認められ、平成27年10月16日に総務大臣より感謝状が授与されました。

肥喜里和隆氏（前みやこ町議会議員）総務大臣より感謝状を授与される



# 活動報告

10月から12月までの議会及び議長の活動を報告します。

月 日	件 名
10月3日(土)	町立保育所ふれあい運動会
10月4日(日)	第3回みやこ町古墳まつり
10月6日(火)	文教厚生常任委員会
10月7日(水)	今里団地(第2期工事)安全祈願祭
10月10日(土)	第19回崎山ひまわり祭り
10月11日(日)	上毛町制施行10周年記念式典 第7回伊良とびあ祭
10月13日(火)	広報特別委員会
10月15日(木)	みやこ町共同販売拠点整備事業新設地鎮祭
10月16日(金)	広報特別委員会
10月17日(土) ～21日(水)	みやこ町ハワイ島友好公式訪問
10月18日(日)	第9回みやこ町文化月間記念発表会
10月22日(木)	みやこ町新年のあいさつ会実行委員会
10月23日(金)	議会改革調査特別委員会
10月24日(土)	おらが町に来て見てギャラリー 第5回上本庄元気まつり
10月25日(日)	合併10周年記念事業バレーボール教室 築城基地航空祭
10月26日(月)	全員協議会
10月29日(木)	秋月藩土墓前法要(140回忌)
10月30日(金)	犀川小学校研究発表会
10月31日(土)	柳瀬小学校創立100周年記念式典
11月2日(月)	京築広域市町村圏事務組合議会定例会
11月3日(火)	公民館まつりⅠN風あげ大会
11月6日(金)	筑豊横断道路建設促進期成会要望活動
11月9日(月)	行橋市・みやこ町清掃施設組合議会定例会
11月14日(土) ～15日(日)	第10回みやこ町産業祭 みやこ町文化協会犀川エリア作品展示会・芸能発表会
11月15日(日)	第10回みやこ町犀川マラソン大会
11月16日(月)	第24回全国市議会議長会基地協議会九州部会総会
11月19日(木)	全員協議会
11月20日(金)	豊前広域環境施設組合議会臨時会
11月22日(日)	みやこ町歴史民俗博物館リニューアルオープン記念式典
11月24日(火)	京築水道企業団議会臨時会
11月25日(水)	福岡県知事ふるさと訪問
11月27日(金)	議会運営委員会
11月29日(日)	伊良原ダム修祓式及び定礎式
11月30日(月)	年末年始特別警戒活動出動式
12月5日(土)	第10回みやこ町人権のつどい 「J2ギラヴァンツ北九州」サッカー教室
12月6日(日)	第69回京都郡駅伝大会 錦町花街道フェスタ2015
12月19日(土)	第10回みやこ町愛郷音楽祭
12月24日(木)	全員協議会
12月25日(金)	京都郡町議会議長・議会事務局長会議

※12月定例議会等の本誌に掲載されているものは除いています。



第7回 伊良とびあ祭



第10回 みやこ町産業祭



歴史民俗博物館リニューアルオープン記念式典



第69回 京都郡駅伝大会





田中 勝馬  
議員

## 国勢調査票未配布の不祥事は誠に遺憾である

### 信頼回復に努める

**Q** 国勢調査は、5年に1度行う国の一大事業にもかかわらず、町職員が66世帯分を配布していなかったという不祥事は、国民・町民の地方行政に対する信頼を大きく揺るがすものであり、誠に遺憾である。

**A** 公務員には、全体の奉仕者として使命を自覚した上で、国民本位・町民本位の行政の

推進に全力を尽くすことを強く求める。

**Q** 調査票配布または提出し

なかった場合は、どのような影響があるのか。

**A** 行政運営を行うために必要な基礎数値となり、普通交付税等の算定基準等に大きく関係することから精度の高い調査が求められている。

**Q** 調査票は郵便受けに入れて配布しても良いのか。

**A** 調査員には調査票は手渡しを原則としているが、3回以上訪問し、さらに訪問を繰り返しても面接することが困難と見込まれる場合は、郵便受けに入れることもある。

**Q** 今回起きた大きな原因は何か。再発防止策はどのようなものか。

**A** 国勢調査に対する認識の低さ、スケジュール等事業進行管理の甘さ、最終確認のミス、詰めの甘さがあったものと大変反省をしている。

再発防止については、関係者全員に調査の重要性を十分に理解させ、国等の示したスケジュールの遵守、進捗状況の確認チェックを徹底し、今

後二度と不名誉な問題を起さない様に気を引き締めて事務を執り行う。

**高齢者の生活支援サービスの充実を**

**Q** 高齢者の皆さんが安全に安心して暮らせる緊急通報システムの設置を進め、急病や事故、災害等の緊急時に迅速かつ適切に対応できる環境整備、福祉の増進に取り組むことを求める。

**A** 高齢者の増加が見込まれる現在、導入しているシステムの見直し等も行い、対象者の方が確実にサービスを利用できる体制をさらに検討する。



緊急通報装置の推進を

**学校再編整備計画の進捗は**

**Q** 平成27年1月22日に最終答申が出されてから約11ヶ月が経つが、学校再編整備計画の進捗状況はどのようになっているのか。

**A** (教育長) 再編整備に要する経費の問題をはじめ、課題について町長部局と協議をしている。

経費の検討に不可欠な校舎の耐力度調査業務を今年度に発注し、調査を進めている。出来るだけ早くお示しをしたと考えている。

## 校舎の耐力度調査とは

公立学校施設において、建物の構造耐力、経年による耐力低下、立地条件による影響の3つの項目を総合的に調査し、建物の老朽状況を評価することであり、文部科学省や防衛省が実施する事業の補助対象とするための条件として必要な調査である。

Q

# 交付税削減に伴う事業等の見直しは

A

## 将来像を見据えた改革を断行していく



浦山 公明  
議員

**Q** 交付税の削減に伴う事業等の見直しや継続について問う。

**A** 交付税の減額は行財政運営を行う上で厳しい。将来像を見据えた健全財政が不可欠である。

**Q** 交付税に依存している我が町も合併後10年を迎える。旧3町の垣根も低くなり、活気づいてきた。今日まで築き、動き出した歯車を止めることはできない。

**A** 一度に削減・廃止せず、目標・計画を立て改革すべきだ。

**A** みやこ町に32カ所ある公共施設等の統廃合は将来を見据えた改革を断行していく。

**Q** 改革・見直しは、避けて



庁舎別館となった旧ゆいの郷

は通れない。5年後、交付税が10億円減額されても、行財政が揺らぐことなく費用対効果の実績が出る財政運営、町民の理解、町長・職員・議員が協働しての取り組みが必要不可欠ではないか。

**A** 予算執行はこれからの研究課題でもあり努力する。

**Q** 公共施設とは限らず町有地の維持管理費も多く、負の財産を売却し、社会保障の財源にしているどうか。

**A** 売れる所は、早急に売却して予算に充てる。

**Q** 町民に削減・見直しを訴えるだけでなく、議員も我が身を削る議員定数削減を町民に示し、理解・協力を得て、

**A** 町財政の一助にと考えている。ぜひ、議会の中で議論していただき、できるのであれば、予算等に反映できると思う。

### 指名競争入札に関する事業

**Q** 我が町の業者が隣接する市町に指名願いを出しても、入札指名はないとのことである。みやこ町では、他市町の業者が落札している。地元業者で施工できる工事もあり、受注させれば、税収にも結びつく。

**A** 掌握していない。調査を行い、地元業者を育成する観点からも、今後、指名委員会で検討する。

### 道路行政

**Q** 国道201号バイパスは、みやこ町のみ路線が確定していない状況、庁舎は一本化したものの取付道路も未定、路線を模索し、即対応できる体制の考えは。

**A** 豊津・犀川から町民等がスムーズに来庁できる取付道路を模索しており、201号

バイパスルートが確定すれば、早急に本庁舎につながる既存の町道改良を予定している。

### 支所の活用

**Q** 長年愛着してきた支所を活用し、地域活性化につなげるべきだ。

**A** 支所の建物を継続し、企業・地域コミュニティ団体等に貸すなど地域活性化に有効な活用方法を検討したい。



支所の活用を

### 担い手育成

**Q** 若者の定住定着には、若者と膝を交え会話を持つことが望ましいと思うが。

**A** みやこ町に住んでいる方が、転出しないことが大切であり、若者との会話の機会も作って行きたい。





小田 勝彦  
議員

# Q 今後のし尿処理に ついての方向性は

## A 議会と協議・検討して 定めていきたい

**Q** 今後のし尿処理について町の方向性を問う。

**A** 豊前広域環境施設組合または行橋市、町としてどちらが良いのか議会と検討して定めていきたい。

**Q** 施設組合理事会での意志疎通ができてないように見えるが。

**A** 町のし尿処理の方向性を決める大事な時期、議員の皆様

様との協議・検討を重ねる。

**Q** 組合長は液肥化と言いつながら、今度は下水道処理で行いたいなどの話を聞くが。

**A** 町の結果を町長として、また、組合の理事として理事会で伝えるとともに組合議会の皆様と議論を深め、今後のし尿処理を進めていきたい。

**Q** 平成29年、築上町が脱退することが増える負担金の額

は、どのくらいか。

**A** 運営費の増減は考慮していないが、現状1億1817万3千円で2573万7千円の増額となる。

**Q** 豊前市、みやこ町の組み合わせで、施設の長寿命化工事後、平成30年以降の負担金は。

**A** 1億5635万4千円になり、3818万1千円の増額となる。

**Q** 吉富町、上毛町の広域加入協議が、2年間の猶予がありながら、26年の10月と11月の2回しか加入協議がなされていないが。

**A** 12月4日の広域議会において、平成27年12月中に、組合長自ら出向き、上毛町、吉富町の参加加入に向け、充分協議することと決議案が提出された。

**Q** 施設の長寿命化工事後、試算では償還年数20年間で、7億6362万円負担金が増加されるのか。

**A** 広域の数字ではなく、町

がパーセント等、試算した概算の数字である。



豊前広域環境施設組合

**Q** 郡部であるみやこ町のし尿を受け入れてくれていた地元漁業の関係者や施設周辺の方たちに感謝しているが、ゴミの施設は行橋市との広域組合で処理している。し尿についても正式な協議を申し込み、協議していただきたい。

**A** 新たな方向にきており、議員の皆様には全員協議会で説明し資料も出している。暗中模索しながらではあるが、堂々と協議ができるような体制をお願いしている。

捕獲後の鹿・イノシシの対処

**Q** 鹿・イノシシの捕獲数が増加する中、加工処理場への搬入がなされていない理由を伺う。

**A** 精肉用在庫冷凍庫の制限による為で、12月5日より受け入れている。

**Q** 鹿・イノシシ肉を使用する学校給食への取り組みや実施計画については、どのようになっているか。

**A** (教育長) 加工され安心・安全に食べられる「みやこ肉」を1月の全国学校給食週間の間に、人気のあるカレーに取り入れる。



有害鳥獣加工施設

Q

# 今後の行財政改革の 取り組みは

A

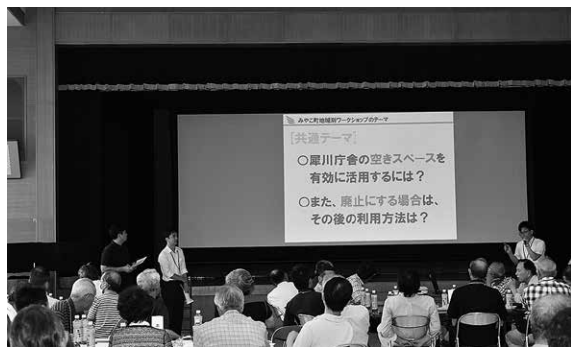
## 住民ニーズに合致した 行財政改革を行う



中山 茂樹  
議員

**Q** 9月に開催された地域別ワークショップで、みやこ町は近隣市町に比べ、際立って公共施設が多く、参加者の多くは驚いていた。支所は本庁に移転し、建物は民間に貸す、様々な意見が出ていた。今後の行財政改革の取り組みを尋ねる。

**A** 大変温かい意見を伺った。支所の活用方法について、住民が集うコミュニティの場としての活用や民間企業への貸し出しなど、様々なアイデアがあり、今後の住民ニーズに合った行財政改革に生かしていきたい。



ワークショップの様子

### 小中一貫校の建設計画

**Q** 現在、伊良原小・中学校を除き、みやこ町には小中学校が13校ある。統合せずに現在の位置で建て替えるより、統合し旧町ごとに小中一貫校を3校建設した方が財政負担が少なく済む。学校建設計画の進捗状況を尋ねる。

**A** (教育長) 平成24年度に「学校在り方検討委員会」を設置し検討した結果、様々な集団活動が出来る望ましい学級規模は20人から30人程度であり、3地区の小学校は1校に統合することが望ましいと

の答申が出された。  
町としても学校の小規模化、老朽化、学校を取り巻く環境等を踏まえ、統廃合を含む学校の再編整備は不可欠と考えている。現在進めている学校施設の耐力度調査の結果を踏まえ、再編整備の方針を早く示したい。

### 林道整備計画

**Q** みやこ町の農林業の活性化を考えたとき、農業は圃場整備もほぼ完成し、営農組織もあり、農業は何とか維持されている。

それと比べ、林業は衰退している。林業を復活させる必要がある。今は山仕事も機械化が進んでいるが、林道や作業道が未整備である。山に人が作業のために入ることにより有害鳥獣は逃げる。有害鳥獣対策のためにも、林道、作業道の整備は必要である。町の計画を問う。

**A** みやこ町には、総延長6万2千メートルの林道がある。現在、幹線林道として2路線、

西犀川線と蔵持山線を県が代行して工事を行っている。なお幹線林道工事と並行し、集落と幹線林道を結ぶ林道や作業道の整備を行い、毎年3から5路線の草刈りや道路舗装等の維持管理を実施している。



林道、作業道の整備を

### みやこ肉の販売促進

**Q** みやこ肉の消費拡大のために、山形県の芋煮会のようなイベントを四季犀館の前の河原で実施してはどうか。

**A** 今後は新商品の開発や販路開拓等を目的に産業祭で出来ないかを検討し、消費拡大に努めたい。





吉竹 次男  
議員

# Q 学校再編整備計画の 早急な具体化を

## A 早期に策定し報告する

**Q** 学校の統廃合は、地域のコミュニティの喪失につながりかねない。それぞれの学校の実態、地域、住民の思いを大切にして進めてほしい。

**A** 設、児童数等の状況を十分考慮し、できるところから様々な形態で実施してはどうか。

**A** (教育長) 地域・学校の歴史、願いを十分配慮し進めていく。

**A** (教育長) 児童生徒数の推移や校舎の老朽化の度合い、地域の実情等、再編に伴う様々な課題について総合的に勘案し、再編整備計画の早期策定に努める。

**Q** 3地区同時、施設一体型小中一貫教育校建設にこだわることなく、町財政や学校施設

**Q** 教育推進の町として、「小中一貫教育」と同時に

「キャリア教育(自尊心)感情・自分を大切にする心、地尊感情・みやこ町を愛する心を養う」を進めてほしい。

**A** (教育長) 学校の中だけで終わる教育活動ではなく、社会と触れ合う活動を通し、地域への愛着や誇りを持つことのできる教育活動を小中連携して進めていく。

### 保育行政

**Q** 今後のみやこ町の若者定着のためには、安心して子育てできる環境の整備が大切だと考える。みやこ町の待機児童の実態はどうなっているか。

**Q** 年度途中でも希望する保育所に入所できるための条件整備が必要。保育士バンクなるものを設置し、保育所間で互いにサポートしあえば、解決できるのではないか。

**A** 厚生労働省の保育所等利用待機児童の定義では、みやこ町には待機児童はいない。しかし、年度途中の入所で第1希望以外の保育所に入所す

**A** 26年4月から、ようやく町内の公立保育所、私立の保育所、9園でなる保育所協議会が発足することができ



認定こども園 太陽の森

た。今後、保育士バンク等の趣旨、活用方法、みやこ町の保育所で可能か等を検討していきたい。

### 今後の支所施設の活用

**Q** 住民の主体的な活動支援の場の提供を含めた、早急な活用計画を策定してほしい。

**A** 公共施設等総合管理計画の中で、各施設の状態を客観的に判断し、改修費や維持経費等を比較検討し、今後の活用方法を具体化する予定である。



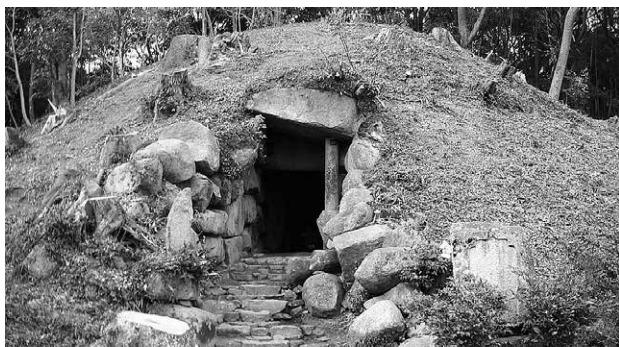
支所活用計画の策定を

# Q 綾塚古墳に駐車場を

## A 整備を検討している



柿野正喜 議員



綾塚古墳に駐車場を

**Q** 10月6日に行われた古墳フォーラムの講演会でも講師の方は綾塚古墳に感動されていたが、町内外にPRして見学の啓発が必要と思うが駐車場の整備計画はあるのか。

**A** (教育長) 文化財の普及、啓発、保存を目指し、長期計画では駐車場の整備を検討しており、地域の方の理解と用地の確保を継続して検討していく。

**Q** 企業誘致活動  
**Q** みやこ町の企業立地条件は、他市町村と比較して特異な有利性のない環境にあると思うが、企業誘致活動状況を伺う。

**A** 近年の企業誘致の動向としては、既に立地している企業の仲介による関連企業の進出となっていることもあり、企業連絡協議会を設置し、町と町内企業の連携を深め、相互に情報共有や協力体制を構築している。

**Q** 町の活性化、雇用の促進、定住の促進等いずれの施策にも企業誘致は重要課題であるが、町に広くある竹林は、若竹・老竹で繁茂してきているが、適正に間伐した竹材を原料とするバイオマス発電会社の誘致活動をしてはどうか。

**A** バイオマス発電は、次世代のエネルギー施策として期待されており、適切な竹材の管理保護に有効な手段の一つと考える。木質バイオエネルギーに関しては、輸送コスト、燃料化するための施設に課題があるのかと考えているので、町内での実施が可能か検討していく。

**Q** 地域巡回移動図書館車の現状  
**Q** 非常に利用状況がよくなっていると聞いているが、平成26年

度の利用状況と利用促進計画があるのか伺う。

**A** (教育長) 利用状況は表のとおりであり、利用促進の為、巡回時に地域を周回し移動図書館車が到着したことを放送によりお知らせしている。  
**Q** 効果の薄い公用車の稼働は財政執行上、適正か伺う。

**A** 広く薄くサービスすることも必要であり、今後の検討課題と考えている。

### 公有バスの運用

**Q** 各種団体が見聞を広め、会員相互のコミュニケーションづくりを利用者から喜ばれているが、一泊できる研修会等にも利用できたらとの要望がある。研修地範囲の拡大、走る広告塔にもなり、みやこ町のPRに有効と思うが、町の考えを伺う。

**A** 高速道路の整備により、時間的に運行距離が伸びているので、公務以外の各種団体の研修も含め、安全な運行計画や研修目的等を考慮しつつ、検討したいと考えている。

### 平成26年度移動図書館車利用状況(地域巡回)

貸出場所	巡回数	貸出冊数	貸出人数
諫山地区活性化センター	12	258	20
崎山地区農業研修センター	12	75	8
下木井地区公民館	12	0	0
光富JA倉庫	12	11	4
合計	48	344	32





橋本 真助  
議員

## Q 教育現場の実態把握は

### A 月に一回、問題等の定期報告を受けている

Q 各学校からの報告をどのように受け捉えているのか。また、報告を受けた問題をどのように取り扱っているのか。

A (教育長) 問題等の定期報告を月一回受けている。原則として学校教育課の指導係が受けている。緊急を要する場合は教育長が報告を受け、臨時の教育委員会を開催している。

Q 学校で不祥事があったと内容で現場職員からの手紙があった。学校現場で管理職の職員が1名欠員状態になっているが、現場での支障はなかったのか。

A (教育長) 子どもたちの教育活動そのものには支障はなかったと思うているが、学校運営上、多くの先生方に苦勞をかけたということはある

うかと思っている。

Q 管理職である教頭の職務は校長の補佐、公務の整理、校長の職務代行などである。学校の運営上、必要な教員が欠員して支障がないのかも一度伺う。

A (教育長) 精一杯の努力をし、支障のないようにしたが、全くないかと言われると保護者や子どもたちに不安な思いをさせた面については支障があったと思う。

Q 不平不満などが地域や保護者から学校に上がった場合

A (教育長) 今回の件については、職員から主幹、主任、管理職に報告され、校長が取りまとめ校長会で報告し、教育委員会が検討および協議する。その内容を議会に報告するのが通常であると考えるが、現在の教育委員会は議会に報告せず、マスコミへ報告をしている。これは議会の軽視ではないのか。

A (教育長) その指摘については、マスコミから質問が

あった場合には、マスコミに対して真摯にお答えをしているということで、議会に報告しないでマスコミに報告するということを決めていくわけではございません。

Q 先の文教厚生委員会で教育長は「議会は公開の場であるので話ができない。」と答弁しているが、マスコミに報告した内容すら委員会で報告できないということはまずもっておかしい。今後きちんと対応すべきである。

A (教育長) 今回の件につ

いてはお詫びをしたい。今後、詳しい説明は勉強会という形で対応したい。

Q 公開の場で言えないことなどがある場合、条例で秘密会などがある。しかし、隠すことにより隠蔽しているのではなどの不満の声も上がることをきちんと把握し、今後このような不信感がないように対応していただきたい。

A (教育長) 個人情報やプライバシーの問題もあるのでそのようなことも含め議会との連携をしてみたい。



学校教育課の窓口

Q

# 国民健康保険制度の 広域化による影響は

A

平成28年度に提示可能



熊谷みえ子  
議員

**Q** 国の保険者支援制度の財政措置を活用し、国保税の引き下げを検討して欲しい。

**A** 国の保険者支援制度の財政措置を活用し、国保税の引き下げを検討して欲しい。

**Q** 広域化の目的、試算は安倍政権は社会保障予算の「自然増削減」路線を復活させ、「医療改革」と称し、負担増と切り捨てを推進している。国保の運営主体を市町村から都道府県に移行させる狙いは、国保への公費支援をやめさせ、国保税のさらなる引き上げにつながる。

広域化の目的、試算は

安倍政権は社会保障予算の「自然増削減」路線を復活させ、「医療改革」と称し、負担増と切り捨てを推進している。国保の運営主体を市町村から都道府県に移行させる狙いは、国保への公費支援をやめさせ、国保税のさらなる引き上げにつながる。

**Q** 国の保険者支援制度の財政措置を活用し、国保税の引き下げを検討して欲しい。

**A** 国の保険者支援制度には、公費拡充による財政基盤の強化があり、平成27年度から低所得者支援として、保険税の軽減に対する財政支援が7割・5割軽減から2割軽減まで拡大された。軽減割合に対する財政支援の支援率も増加した結果、被保険者1人当たり約5千円の財政支援効果が見込まれる。

**Q** 子育て支援の取り組み子ども子育て支援制度での影響について、市町村の保育実施責任に基づき希望通り入所できているか、支給認定・給付制度において問題はないか。

子育て支援の取り組み

子ども子育て支援制度での影響について、市町村の保育実施責任に基づき希望通り入所できているか、支給認定・給付制度において問題はないか。

**Q** 総合計画に、公立保育所を減らす方向性が出ているが、平成31、32年までに1園の民営化を検討していかなければ

**A** 総合計画の素案の中では、平成31、32年までに1園の民営化を検討していかなければ

**Q** 保育の必要性と保育利用区分で問題はないか。

保育の必要性と保育利用区分で問題はないか。

保育時間について、8時間以内と、11時間以内の利用になるが、保育短時間の認定でも通院や不慮の事故等ときには、延長保育を実施しており問題はない。



はらいごう保育園



京築広域圏消防本部

**Q** 調査状況と今後の見通しと、改善の方針の検討状況は。

**A** 調査状況と今後の見通しと、改善の方針の検討状況は。

**Q** 調査状況と今後の見通しと、改善の方針の検討状況は。

調査状況と今後の見通しと、改善の方針の検討状況は。

改善方針は、伝票の決裁、通帳、公印の管理、チェック体制の強化等、特別調査委員会の中で検討する。全体被害額を含めた調査を実施し、損害賠償請求についても検討していく。

ならない。園を全部減らすとあれば、保護者の方たちの理解等も必要となり、検討段階にあり、まだ決まっていない。京築広域圏消防本部の使途不明金の全容解明を





直 義 野 柿  
議 員

**Q** 井上町政における人権施策の位置づけは

**A** 人権が尊重される心豊かな地域社会の実現が大前提

**Q** 人権男女共同参画課の廃止の中止を

**A** 井上町政の人権や男女共同参画に取り組む姿勢を危惧する。

**Q** 目まぐるしい環境変化に対応し、これまでの事務事業を住民ニーズに対応させ、業務のさらなる推進と充実につなげる。

**Q** 廃止後の人員配置は。

**A** 総務課に人権政策係と男女共同参画係の2名を配置する。

**Q** 平成22年には男女共同参画ハンドブックが作られ取り組みが始まったばかり。例えば女性管理職の現状は全国の市町村の本庁課長職級で14.6%（国の目標は2020年でも20%）というが町の現状は。



男女共同参画計画及びハンドブック

**Q** 女性の課長はいない。

**A** これでは町長は口先だけではないか。今日、男女間では雇用や所得で格差が大きい。全世帯の2〜3%を占める母子家庭（平均年収243万円）は、児童のいる世帯（673万円）、高齢者世帯（309万円）、全世帯平均（537万円）と比べても大変厳しい状態にある。女性の置かれている社会的環境を反映している一例でもあり、子どもの貧困の問題もかかえている。いま社会的に弱い立場に立たされて、努力しているところに行政として人も金もつき込まねばならないのに、井上町政は逆行している。

**Q** 健康寿命の延伸を

**A** 健康寿命を延ばして暮らしやすい老後の実現と医療費削減で国保税の軽減へ結び付けてほしい。先進地を研究して成果を。

**Q** 町の疾病の状況を把握し、改善策の目標を定めて関係機関と連携して取り組んでいる。長野県は長寿で医療費も低く、参考にしていきたい。

**Q** 広報12月号に「国保加入者の疾患とその原因」という特集があり、私の9月議会一般質問との関連で嬉しく感じました。健康寿命の目標値を定めては。



目指せ健康寿命日本一

**Q** 我が町の健康寿命は調査中。福岡県では男性で69.67年、女性で72.72年。これを上回りたい。

**Q** 町民の声は届いているか

**A** マイナンバー制度に関連して詐欺と関係するとみられる電話があったと聞く。情報の漏えいなど心配な点もある。この制度のわかりやすい説明を。

**Q** 広報12月号で詐欺に対する注意・喚起をしている。行政無線でも放送。制度の説明では9月にパンフレットを配布しホームページでも6月から随時掲載している。

**Q** 不祥事の責任は

**A** 町の相次ぐ不祥事に執行部はもっと責任を感じるべきだ。

**Q** 最高責任者として深く反省し、お詫び申し上げる。

**A** （教育長）町内の学校の管理職が2カ月間不在になる事態を招いたことについて、責任を感じており、深くお詫びする。

Q

## 支所を高齢者のための福祉施設として活用しては

A

多額の改修費を要することから多方面の協議が必要



中尾 昌廣  
議員

Q 支所を高齢者のための総合的な福祉施設（老人ホーム）等にしてはどうか。

我がみやこ町は、特に過疎問題、そして、少子高齢化が進み、高齢化率は他市町村に比べ非常に高く、3人に1人が65歳以上、その内の5人に1人が認知症、日本全国で約700万人が認知症。国の推計によれば、10年後には私たちはそのような社会を生きなければならぬ。併せて、高齢者の年金等の目減り、そして、低所得者が続出し、介護施設の費用が払えず入所・入園が困難となり、老老介護などをやむなくされ、悲惨な事件が多発するであろうという

ことも予測されている。今回、本庁方式が決定し、来年より豊津支所・犀川支所に大きな空きスペースが生じることから、地域の特色を生かした使い勝手の良い施設であって欲しい。

特に犀川地域では、地域の真中が空洞化し、衰退に拍車がかかるところは間違いのないところである。



犀川駅前の商店街

そのことをしっかりと補うためにも地域を生かした総合的な福祉施設、高齢者のための多目的な介護施設や厚生労働省が3年前から策定の認知症オレレンジプラン、若年認知

症、また、今現在、社会問題になっている徘徊高齢者などに総合的施設を建設することにより地域の活性化も含めたまちづくりができると思うがいかがか。

A 本町の介護施設の整備計画は3年毎に策定しており、みやこ町高齢者福祉計画・介護保険事業計画において定められている。平成27年度から29年度における第6期計画期間内には、介護施設は充足していると判断し、新たな整備計画はない。次期の7期計画は、29年度中に策定を行い、その時点で町の介護保険認定者数や施設の増減の状況、給付費の総額に応じた介護保険料の決定を含めた事業計画を策定することになる。その計画の中で新たに老人福祉施設が必要と判断されれば、地域密着型も含めた特別養護老人ホーム等の整備について検討することになる。

しかし、支所を老人ホームにどの提案については、庁舎

の構造を考えると老人福祉施設の基準に適合させるためには、多額の改修費用を要することから多方面に渡る協議が必要になると考えている。

Q 今後の一番の難題は高齢者の問題であり、介護を必要とされる方も増えてくる。支所を福祉施設にすることは、いろんな問題があるかもしれない。また、いろいろな支所の活用方法があると思うが、高齢者にやさしいまちづくりが必要である。

A そういうことができれば良いと思うが、今後、関係機関の皆様と施設の有効活用について協議していく。



支所の空きスペースの活用を



# 地域の将来を考える子どもたち!

## ～ 節丸小学校児童が議会を傍聴 ～

12月11日、節丸小学校5、6年生の児童たち9名が議会を傍聴に来ました。

子どもたちの目に議会はどのように映ったのでしょうか。感想文を頂きましたので、少しずつですが、ご紹介いたします。

会議が始まったとたんにみんな真剣な表情になり、話している人も聞いている人も会議に集中していました。初めて会議をしているところを見て勉強できて本当によかったです。

こんなに大きな会場に、こんなに人が集まって、いろんな人のために話し合っていることを知って、とても驚きました。みやこ町をよりよい町にするために話し合っているのだなと思いました。これからも頑張りたいです。

会議が始まる前は、僕たちに笑顔で手を振ってくれたけど、会議が始まると、みんな一斉に真剣な顔になり、すごいことが始まりそうで、帰る時、心の中では「もうちょっと見たい。」と思っていました。

いろんな難しい言葉を言っていて、何を言っているのか、わからなかったですが、みんな一生懸命で、僕たちもとても緊張しました。

何を言っているのか難しくて、わからなかったけど、みんなのために話していることは、わかりました。私も、みんなのためになるようなことをしたいです。

みやこ町内のことを話していることが少しわかりました。その中で気になったことは、伊良原ダムと東九州自動車道のことです。これからも頑張ってください。



議員の人が間違いを訂正したり、手を挙げて発言しているところを見て、すごいなと思いました。また、「異議なし」という言葉がそろっていてすごいなと思いました。

裁判みたいに話し合いをしていることを知って、すごくびっくりしました。もっと意見を発表するかと思っていただけ、みんな冷静で、すごく落ち着いているなと思いました。

発言する人は、間違えてもしっかりと言っていたのが、私には絶対言えないことなのですごいなと思いました。「法律」や「条例」という言葉を基に話し合っているのではないかと思いました。発言する人が言い終わった後の「異議なし」の言葉が印象に残りました。



傍聴に来てくれて  
ありがとう!  
また、勉強に来てね☆



# がんばっちよる

**ジュニアバドミントン  
全国大会出場おめでとう  
若竹クラブ**

若竹クラブは、密度の濃い練習で最近メキメキと力をつけているバドミントンのジュニアクラブです。昨年は、クラブ発足6年目にして念願の全国大会に出場することができました。全国大会は昨年12月23日から27日にかけて行われました。



第24回全国小学生バドミントン選手権大会  
平成27年12月23日～27日 於 北九州市立総合体育館

黒田小学校5年生の白川天悠君・梅林颯汰君ペアは、26日に男子ダブルス5年生以下の部に出場しました。

結果は、初戦は香川県のペア（四国ブロック3位）との対戦でしたが、1、2セットとも接戦を制し見事勝利を収めました。2回戦は京都府のペア（近畿ブロック1位）と対戦し、1セットはとったものの2、3セットを奪い返され惜しくも敗退しました。2回戦敗退は残念ですが、初の全国大会で1勝したことは見事です。

この大会で全国のレベルを知り、更なるステップアップを目指して練習を重ねています。上位を狙える力は十分ありますので、次回に期待したいと思えます。

現在、若竹クラブでは、年長から中学3年生までの18名が在籍しています。

町内に唯一あるジュニアバドミントンクラブで、当初は、月1回のふれあいスポーツ教室に参加してシャトルを打ち合う程度でしたが、子どもたちのレベ

ルが上がるにつれ、練習量も増えてきました。

現在では、土日祝日の終日、平日は放課後に、黒田小学校の体育館で週3回練習しています。



大会の参加や他クラブとの交流も積極的に行い、『目指せ！日本一！』を掲げ、子どもたちは勿論のこと、コーチ、保護者も一丸となって取り組んでいます。

現在、クラブでは小学校2年生以下の会員を募集しています。見学やお試しもできますので、興味がある方はお問い合わせください。

**連絡先**

みやこ町体育協会

TEL 33-7001

## 議会の傍聴において下さい。

※住所氏名の記入だけで傍聴することができます。  
3月定例会の招集日は、3月1日の予定です。詳細については、決定次第、ホームページや防災無線等でお知らせします。  
本会議中継を本庁及び各支所ロビーに設置のテレビでも放映いたしますので、是非ご覧ください。

発行日：平成28年2月1日

発行：みやこ町議会

〒824-0892  
福岡県京都郡みやこ町勝山上田960番地  
TEL 0930-32-2511 (内線 301・302)  
FAX 0930-32-4563

編集：議会広報特別委員会  
印刷：(有)京都印刷

## 議会広報 特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 熊谷みえ子 |
| 副委員長 | 柿野正喜  |
| 委員   | 肥喜里雄二 |
| 委員   | 吉竹次男  |
| 委員   | 中山茂樹  |
| 委員   | 飯本秀夫  |
| 委員   | 大東英壽  |
- 発行責任者

## 編集後記

寒中お見舞い申し上げます。

昨年の干支である羊年は、イスラム国の関与が疑われる数多くのテロ事件が記憶にあります。今年、今年度の干支は60年に一度の丙申（ひのえさる）の年です。

申年は、古来より災いが去り、生成、発展、勢いの年になるといわれています。

みやこ町に於いても合併10周年を迎え、新年より行政窓口の完全なる本庁一括体制が整いました。

町民の皆様方には、一部不便さを感じることもあろうかと存じますが、業務のスピード化、経費の節減からも必要なことですので、ご理解願います。

皆様のご協力を得ながら、更なる飛躍の年となることを期待しています。

(飯本秀夫)

